

第2回 福岡市立背振少年自然の家等に係る指定管理者選定・評価委員会 議事要旨

●日時

令和4年10月6日(木) 13:30~15:20

●場所

アクロス福岡6階 601会議室

●参加者

委員：5名

事務局：こども未来局こども部こども発達支援課

1 開会

2 本日の進め方について

事務局： 委員間で評価に大きな差がある審査項目がある場合は、意見交換を実施したい。「評価に大きな差がある」場合については、5段階評価で3段階以上の差がある場合ということで如何か。

全委員： 異議なし。

3 応募者の財務状況について

委員（公認会計士）より応募者の財務状況について説明

委員： 結論として、特に問題はない。

構成企業2社とも収益性、財務安定性にかかる指標について概ね望ましい値であり、問題となる事項は認められなかった。

4 応募者ヒアリング

(1) 応募団体による応募書類の説明

(2) 質疑応答

委員： 各事業で発生した「ヒヤリハット」情報を共有するとのことだが、どのような方法で共有するのか。

応募団体： 報告書を作成し、定期的な会議の場で共有を行っている。また、データをサーバーに保存しており、両施設とも閲覧できる状態にしている。

委員： 利用者アンケートを団体の代表者だけではなく、参加者からも取るとのことだが、自然教室で利用する小学生も対象になるのか。

応募団体： 小学生も対象とする予定。学校から児童に配布されているタブレットを活

用できればと考えている。

委員： アンケートを電子化するとあるが、オンラインのアンケートだと端末ログが残り匿名性が損なわれる危険性がないか。

応募団体： 設計の際に匿名性が保たれるよう配慮したい。

委員： アンケートの回収目標を100%としているが、強制にならないようにしてほしい。

委員： 今回の提案の一番の売りは何と考えるか。

応募団体： これまでの指定管理業務経験により身についた、環境の変化を察知し、何が必要かを考え、すぐ対応するという能力。これが一番の力だと考える。

委員： 食料料金が現在より上がっているのはなぜか。

応募団体： 燃料代、仕入代が高騰しており、上げざるを得ない状況である。指定管理者候補者となれば、市と協議をさせていただきたい。

委員： 新規で「チャレンジ教室」とあるが、既存の「チャレンジクラブ」との違いは何か。

応募団体： 「チャレンジクラブ」では将来のリーダー育成という形で実施していたが、改めて将来を見据えたリーダーやボランティアを育成しようということで提案をしている。詳細については検討しているところである。

委員： 子ども自身が何らかの形で関わって、施設と一緒に情報発信したり活動できる仕組みがあるとよいのではないか。

委員： 最近では教育に芸術の要素を取り入れたものが増えているが、そのような取り組みはあるか。

応募団体： 自然物を使ったクラフトを実施する。家庭でも手を動かして物を作るという経験が減ってきているので、特に力を入れていきたいと考える。

委員： コロナ前と比べて、自然教室で利用する小学校の宿泊数に影響はあるか

応募団体： コロナ前であれば2泊3日の自然教室が1泊2日になったり、宿泊せずに日帰り利用が増えたりと、運営に影響はあると思う。

委員： 団体職員は2年以上勤めている割合が多いが、離職率はどうか。

応募団体： 最長で8年勤めている職員もいる。数年前に入れ替わる時期があったものの、現在は安定しており運営にも支障がないようにする。

委員： 非正規の職員の割合が多いが、雇い止めは発生していないのか。

応募団体： こちらから一方的に雇い止めはしていない。

委員： 収支予算書で、背振少年自然の家と海の中道青少年海の家で利用料金収入に差があるのはなぜか。

応募団体： 両施設とも利用料金は同じで、利用人数の差である。実績から、背振少年自然の家の利用人数を少なく見込んでいる。背振少年自然の家をより一層認知していただけるような、様々な取り組みを実施していきたい。

5 審査

各審査項目について、委員間の評価に大きな差はなかった。

(講評)

委員： アンケートで利用者の意見を取り入れるなど、環境の変化に応じた事業を実施していきたいとの意欲が感じられた。

委員： 提案内容も細かいところまで考えられているところは評価できる。あとはこれが絵に描いた餅とならないようにしっかりとモニタリングしていく必要がある。

委員： 計画が丁寧に練りこまれてあって安心できる。今後は青少年施設の在り方や将来像について新しいビジョンが必要になると思うので市と連携して取り組んでいただければと思う。

委員： 過去の経験も踏まえて、しっかりと事業が計画されていると感じる。候補者が複数いて、内容の比較ができればより良かった。

委員： 様々な教室や講座の提案があったが、子どもたちが自発的にやりたいと思えるものがもっとあると良いと感じた。また、広報のやり方についても工夫する余地があると思うが、提案については丁寧に計画されており、安心して運営を任せることができるのではないかな。

6 事務連絡

7 閉会
